

絵本のよみあいにおける大人の役割とは? : 幼児と母親の絵本の読みあい場面の観察研究からの示唆実施結果 : アンケート集計結果の概要 (総合研究所 News : 2014年度 聖学院大学総合研究所 【子どもの人格形成と絵本】研究プロジェクト主催 : 子どもの育ちと絵本研究講演会

著者	聖学院大学 総合研究所
雑誌名	聖学院大学総合研究所Newsletter
巻	Vol.24
号	No.1
ページ	51-52
発行年	2014-09
URL	http://id.nii.ac.jp/1477/00002753/

Title	絵本のよみあいにおける大人の役割とは?：幼児と母親の絵本の読みあい 場面の観察研究からの示唆実施結果：アンケート集計結果の概要（総合 研究所 News：2014 年度 聖学院大学総合研究所 【子どもの人格形成と絵 本】研究プロジェクト主催：子どもの育ちと絵本研究講演会
Author(s)	聖学院大学総合研究所
Citation	聖学院大学総合研究所 Newsletter, Vol.24-No.1, 2014.9：51-52
URL	http://serve.seigakuin-univ.ac.jp/rep/modules/xoonips/detail.php?item_id=5155
Rights	



聖学院学術情報発信システム：SERVE

SEigakuin Repository and academic archive

2014年度 聖学院大学総合研究所
【子どもの人格形成と絵本】研究プロジェクト 主催
子どもの育ちと絵本研究講演会

絵本のおよみあいにおける大人の役割とは？ —幼児と母親の絵本の読みあい場面の観察研究からの示唆—

実施結果—アンケート集計結果の概要

本発表では、母親と幼児期の子どもの間でなされる絵本の読みあいを対象とした観察研究によって明らかになった、絵本をめぐる母子間の相互作用の「実態」と、絵本の読みあいを通した子どもたちの学びの「過程」に関する知見を紹介することで、幼児期の絵本の読みあい場面において大人が果たす役割について考察していく。絵本の読みあいを研究する上で発表者自身が悩んでいることについても情報提供し、幼児期における絵本の読みあいの実践のあるべき姿や、絵本が子どもたちにもたらす学びに関して、できる限り率直な議論をしていきたい。

日 時：2014年6月21日（土） 13:00～15:00

場 所：聖学院大学ヴェリタス館教授会室

【プログラム】

開会挨拶

講 演

絵本の読みあいにおける大人の役割とは？

—幼児の母親の絵本の読みあい場面の観察研究からの示唆—

齋藤 有（ルーテル学院大学総合人間学部 助教）

司 会

石川 由美子（聖学院大学人間福祉学部こども心理学科）

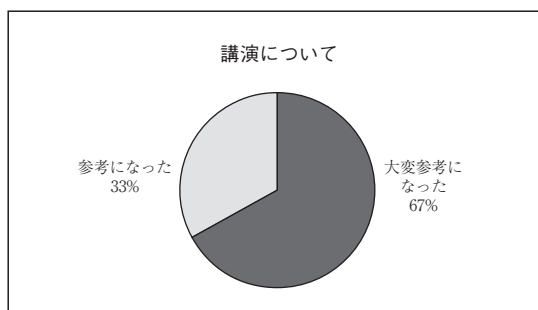
質疑応答

【結果の概要】

- ・参加者は34名。内アンケート回答者は15名。
- ・講演について、「大変参考になった」という意見

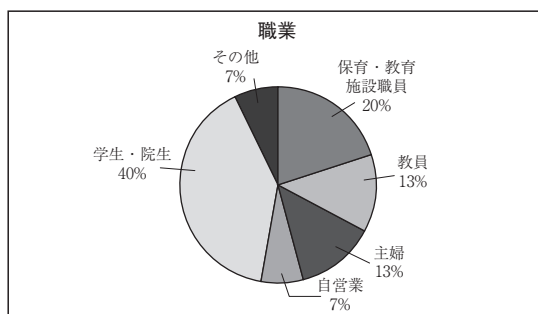
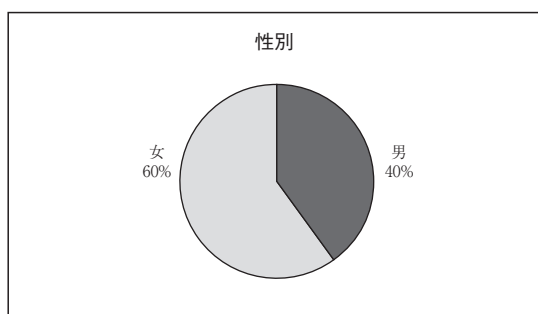
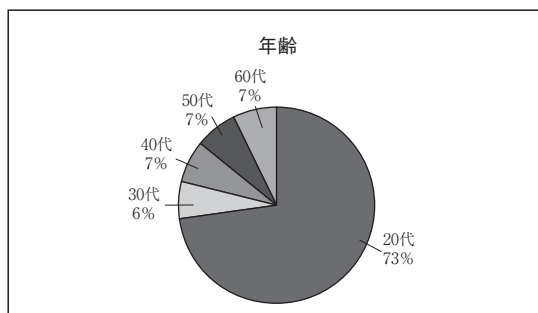
が67%。「参考になった」と合わせると100%と高い評価を得た。

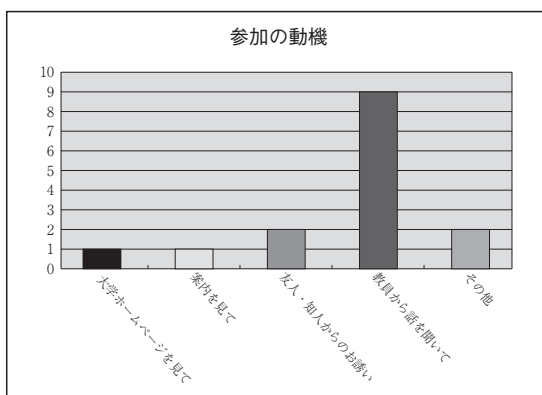
- ・今後について・自由意見として、「今後も絵本に関する講演を期待する」「保育者と子どものケースもお願いしたい」「とても勉強になった」など。



グラフ

(N/A除く)





今後の講演会について

- ・絵本について、作品、読み聞かせ、コミュニケーションと様々な側面から、より勉強したいと思います。今後も色々な面からの絵本に関する講演を期待します。
- ・今回の講演会では、私が考える保護者と子どもとの関わり合いで重視したいと思っていた絵本について、ご教授いただきました。保育現場にて日頃保育を通して絵本を読み聞かせる職員へ伝えていきたいと思いますが、ぜひとも各地域の保育機関などで、直接ご講演、研修会などを行っていただきたいと思いました。私共の幼稚園や保育所では絵本の読み聞かせを重視しており独自でも研修会を行っています。大変貴重なお話をありがとうございました。
- ・母と子どもだけでなく、保育者と子どものケースもお願いしたいです。
- ・折り紙や身近な物で作る玩具について実際作ってみたり、紹介してもらえる会を開いてほしい(実際に使えるもの)。
- ・今後もやれることがあるなら、やっていっても良いのではないかと思います。
- ・告知がもう少し早いと(1ヶ月くらい前)予定が合わせやすく助かります。

自由意見

- ・絵本の世界を通して子どもがどのように成長していくかということに興味があり、今日参加しました。共感的な読み方で子どもに考える余地をあたえるような環境づくりが大事だと知り、自分も取り入れていこうと思いました。

- ・本日は、ご講演いただきありがとうございました。「きつねのおきゃくさま」は2年生の教科書に「物語文」としてのっています。幼児とは違い、小学生になり、しかも授業の中で読み合いをすることはできませんが、本日の講演を聞き抑揚をつけることの良い点を知りました。小学生にも絵本を読み聞かせる活動を本校では行っております。やはり、抑揚のある読み方と、ない読み方では、少なからず事後の反応も異なります。とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・子どもと1対1で絵本を読むときに読み手と聞き手の関係や、1対複数では大きな差があるのではと思いました。例えば初めて1対1で読みたいときに聞き手がしっかり聞いてくれるかどうかは分かりません。また、タイミングもあると思います。楽しい雰囲気を読めるようになるということは関係も良いということだと思いました。
- ・大変勉強になりました。絵本の読み聞かせについては保育に世界でこうしたら良いという考えがある程度あると思いますが、どれも経験的に語られているので、こうした実証的な研究が積み上がっていくことを期待します。
- ・いろんな絵本で子どもの反応が知りたいです。
- ・今後、子どもと関わっていくときにとても参考になりました。また、共感できる事も多かったので良かったと思います。